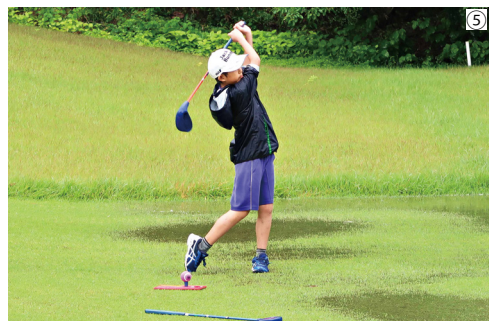


Bellmark Shimbun ベルマーク新聞 8月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

雨の中、感謝を胸にひたむきにプレー

小学生のスナッグゴルフ全国大会



①大きな拍手で大会を締めくくった後、全員で記念撮影 ②小田プロを前に選手宣誓 ③優勝した東広島市立東西条小学校は、この日招かれたスナッグゴルフの開発者、テリー・アントンさんと記念撮影 ④昼食のカレーライスを選手たちに手渡す地元ボランティアの人たち ⑤水たまりのある芝でのショット ⑥慎重にボールを置いてのプレー

一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)主催の「第17回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会」が7月14日、福島県西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブで開かれ、予選を勝ち抜いたチームや昨年の上位校、震災復興支援校など33小学校174人がひたむきなプレーを貫きました。

「スナッグ」は Starting New At Golf(ゴルフを始めるために)の頭文字。ゴルフを気軽に体験してもらおうと開発された種目です。「SNAG = くつつく」の言葉通り、マジックテープで加工した旗の土台にボールが付くと、ホールアウトならぬ「スナッグアウト」となります。用具はベルマーク預金でも買えます。災害復

興支援としてここ4年間は福島県で大会が開かれています。

当日は朝から本降りの雨。開会式は屋内会場に変更され、小田孔明選手ら6人のプロによる「ドリームチーム」との交流ゲームが先に行われました。フラフープくぐり、おしり風船割りなど7種目でくじで選ばれた出場校と対戦。お互いが一切手を抜かない好勝負を展開しました。その後、JA 福島中央会提供の会津産コシヒカリを使ったカレーライスで昼食。西郷村からもポテトまんじゅうがふるまわれました。

昼食後、雨中のゴルフ場で試合が始まりました。全参加選手が48組に分かれてコースを回り、各チーム上位3人の

合計スコアで順位を競います。

運動靴の中にまで水が入ってくる中、選手たちは落ち着いたプレーを見せました。濡れたグリップをタオルで拭き、「打ちます」と宣言してスイング。グリーン上では真剣な眼差しで旗までの距離を測ります。開始から1時間半後、ようやく雨が上がり、コースにトンボが舞い始めました。試合を終えた選手たちは口々に「楽しかった!」と話しました。

結果は、8年連続出場の東広島市立東西条小学校(広島県)が3人合計78ストロークで初優勝。徳永友美監督は今年が最後とのことで「子どもたちが最高のプレーをしてくれて本当にうれしく思います」と涙で言葉を詰まらせました。2

位は常陸大宮市立大宮小学校、3位は笠間市立岩間第三小学校(ともに茨城県)でした。プロのドリームチームは貫禄の71ストロークでした。

表彰式では西郷村立熊倉小学校6年の知々田(ちちだ)奈津さんが「大会を応援してくれている皆さん、東日本大震災からの復興のため、福島県を応援してくれている皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです」と、お礼を述べました。

選手みなさん、
おつかれさまでした!



一輪車講習会、岐阜・恵那でスタート

今年度のへき地校支援

岐阜県恵那市立串原小学校(松野光宏校長)で7月16日、ベルマーク財団がへき地校支援のため実施する一輪車講習会が開かれました。2019年度は5県6校で開く予定で、その最初の回です。

串原小は明治6(1873)年創立。140年以上の歴史がありますが、いまの児童数は31人。地元につながる歌舞伎の上演やコンニャクイモの栽培、ホタルの飼育・放流、ササユリの保護・観察など地域の文化や自然に根差した特色ある活動に取り組んでいます。一輪車は、地域の合同運動会で全校児童が演技を披露するそうで、今年もそれに向けて練習を続けています。

講師は日本一輪車協会の公認インストラクター、鈴木奈菜さんと須郷真弥さん。練習に入る前に、サドルの高さやペダルを踏む足の位置の調整について注意。「簡単

に乗れると思わないで。私たちも何百回、何千回も失敗して今日があります」と励ましました。

最近乗れるようになったという1年生の石原陽向(ひなた)くんは、スラロームに成功。「難しかったけれど、できてよかった」とうれしそう。2年生の大島舞さんは3人で手をつなぎ丸く回った後、3秒停止する技に挑戦。「運動会に向けて力を合わせて練習したいです」

指導の最後にはループトンネルという演技に取り組みました。全員が1列になって走りながら、先頭の2人が腕を上げて輪を作り、その中を最後尾の人から順にくぐり抜けていく大技です。講師のアドバイスを受けながら、何度も挑戦していました。

松野校長は「自己流で練習してきたので大いに刺激になりました。ありがたいです」と話していました。



最後に講師と一緒に記念撮影
(後列左端が鈴木奈菜さん、右端が須郷真弥さん)